

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう



The Rotary Club of Iruma

入間ロータリークラブ Weekly Report

国際ロータリー 2570地区
Rotary
International
District 2570

2025-2026 RI 会長:フランチェスコ・アレツツォ 2570 地区ガバナー: 坂口孝 会長: 晝間和弘 幹事: 後藤健

特別号 2025年7月27日(日)

工藤聖彦 ポリオ根絶 チャリティーコンサート

❀ 新井格 SAA ❀

去る7月27日(日)晝間年度最初の事業としてマリンバ奏者の工藤聖彦さんによるポリオ根絶チャリティーコンサートを開催しました。

工藤さんは、入間市の出身。武蔵野音楽大学を経て、2011年から2012年にかけてロータリー財団より奨学金を受けてドイツへ留学、国立デトモルト音楽大学の修士課程ならびに国家演奏家資格課程をともに最優秀の成績で修了した逸材です。現在もエッセンを中心に幅広く音楽活動を展開されています。

今回の企画は、昨年度の新旧役員慰労激励会に一時帰国中の工藤さんが参加された際に水村パストガバナー(PG)の発案からスタートしたもの。開催に漕ぎ着けるまでの約一年間、海を越えて工藤さんと水村PGは連絡を取り合い企画を練り上げてこられました。

新年度が動き出す前にコンサート実行委員会が編成され、水村PGと晝間会長を中心に後藤健幹事、駒形会員、杉田会員、津藤会員、細田会員、新井SAAの8名が召集されました。会員各位の協力を受け事前の広報と前売りチケットの販売も順調に進みました。

当日は、水村PGが館長を務める入間市文化創造アトリエ・アミーゴに集合。実行委員はスタッフとしてマリンバをはじめとする楽器や譜面台を移動するという大役を担うこととなり、普段の例会では決して見ることが出来ない真剣な面持ちでリハーサルに臨みました。なにしろ繊細な楽器ですから慎重な上にも慎重に扱わなければなりませんし、数ミリ単位で決められた位置に正確に置かなければなりません。メンバーは緊張の面持ちでリハーサルに取り組みました。

短い休憩を挟んで13時に開場。お客様の案内(細田会員、暑い中にもかかわらず大きな声が良く通っていました)、チケットのモギリ、プログラムの配布と座席への誘導など。

水村PGの司会進行でコンサートは開幕。やや緊張気味の晝間会長の挨拶では、ポリオ根絶という国際ロータリーの壮大なミッションと今回のコンサートの意義についての説明がなされました。コンサートは工藤さんによるマリンバの独奏でスタート。ガーシュインの「サマータイム」や久石譲の「Summer」など、この時季にちなんだお馴染みの楽曲で聴衆の心を掴みました。プログラム後半では、武蔵野音大で工藤さんの一年後輩にあたる富岡春絵さん(結婚を機に入間市に引っ越されたそう)が登場。カホンやジャンベといったパーカッションでのサポート、そして一台のマリンバを先輩後輩が並んで奏でる連弾など、様々なアンサンブルで聴衆を魅了しました。アンコールの際には工藤さんのマリンバの師でありアンコール曲の編曲者でもある中谷孝哉先生がサプライズ登場。「年齢とともに筋力も落ち自身の演奏者としての衰えを感じてきた中で、弟子である若い二人のフレッシュで力強いパフォーマンスを目にして、ご自身の書かれたスコア(楽譜)が新しい命を吹き込まれて生き続けて行く事を確認出来た」という主旨のコメントがありました。音楽の素晴らしさ、奥深さとともに師弟愛の伝わる奥深い言葉で約90分の演奏会は幕を閉じました。

当日の様子は金井会員のスナップ写真でご覧下さい。また、ホルンを学んでおられる金井ジュニアの阜希さんもスタッフの一員としてコンサートを支えて下さいました。

ポリオ根絶という国際ロータリーのミッションの広報、入間ロータリークラブと財団奨学生として研鑽を続けられてきた工藤さんのコラボレーション、更には入間クラブのPRにも繋がったとても有意義な事業に参加出来た事の感謝と歓びを添えて報告とさせていただきます。



発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email : iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12：30～13：30 ■会報委員長：宇野健一

